

また、民間主導により平成24年度の完成をめざしている、西条紺屋町商店街の共同店舗整備事業については、コンパクトシティとしてのまちなか居住促進による活性化の実現に向けて支援します。

◆港湾施設の整備

平成23年度に事業化された西条第1防波堤の早期完成と港湾計画の早期事業化を関係各方面に強く働きかけます。

◆水道事業

安全・安心な水の安定供給を維持するため、老朽化施設の更新や、耐震化を進めるとともに、水源地等における緊急時の電源確保にも取り組みます。

◆下水道事業

引き続き西条処理区及び東丹処理区の管渠かきまの整備や、終末処理場の増設事業に取り組みとともに、雨水排水施設の改修整備を進めます。

また、戦略的な資産管理をめざした、アセットマネジメント手法の導入を検討するなど、経営面にも留意した運営に努めます。

◆防災体制の充実

平成16年災害を忘れることなく教訓とし、東南海・南海地震などの巨大地震に備え、「死ぬな、逃げる、助ける」を合言葉に、防災士連絡協議会と連携した自主防災組織の強化・育成を図るとともに、学校校舎の耐震化や津波・山津波対策等の減災戦略を推進し、総合的な防災力の向上による災害に強いまちづくりを、着実に実行します。



▲コミュニケーション教育の充実を図り、心豊かにたくましく生きる西条っ子の育成を推進します。  
(写真：「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業」の様子)

また、当市独自の防災教育として、国連国際防災戦略など各方面から高い評価をいただいている12歳教育を推進するとともに、2年目となるベトナム国フエ市での防災教育プログラムの構築に向けて、国際協力を進めます。

◆情報化の推進

当市が昨年3月、日本経済団体連合会が実施する「未来都市モデルプロジェクト」の実証地域として指定を受けたことを機に、教育分野の情報化を図るスクール・ニューディールを積極的に推進します。

豊かな心を育む教育・文化を  
実感できるまちづくり

◆学校教育の充実

「ともにつくり、みんなが育つ学校」をめざし、防災教育・コミュニケーション



▲郷土の先人の顕彰事業を積極的に展開します。  
(写真：昨年9月に開催した「十海信二先生顕彰シンポジウム」の様子)

ユン教育の充実を図るなど、心豊かにたくましく生きる西条っ子の育成を推進します。

また、昨年11月に開所したウイングサポートセンターにおいて、子どもの成長・発達等に関する相談活動の充実を進めます。

◆社会教育の充実

地域の拠点として活力を生む元気な公民館活動を推進するなど、家庭や地域の教育力向上を図るとともに、人と人、そして地域をつなげる生涯学習を進めます。

さらに、図書館を人づくりと情報発信の拠点として位置付け、読書に親しめる環境づくりや、十海信二先生をはじめとする郷土の先人の業績等に触れる機会の充実を進めます。

◆スポーツ・学校体育の振興

合宿都市の推進をはじめ、次世代育成支援スポーツ事業等の推進により、



▲「2017年えひめ国体」に向け、当市での開催予定競技について、市民への普及や競技力の向上等を積極的に進めます。  
(写真：2月に開催した「ハンドボールジュニア講習会」の様子)

トップアスリートを招き、ジュニアや指導者の育成・交流に取り組みます。

また、「2017年えひめ国体」において、当市で開催予定のサッカー、ハンドボール、軟式野球、ソフトボール、山岳の5競技について、市民への普及や競技力の向上等を積極的に進めます。

産業の活力を  
実感できるまちづくり

◆産業振興

「地域活力の源泉は産業にある」との強い思いの下、豊富な地域資源や四国屈指のものづくり技術の集積を背景に、市外企業向けの情報発信を行うとともに、世界へ輝きを発する「ものづくり拠点」の形成をめざし、地場産業の競争力強化や新事業の創出等についての支援を、積極的に推進します。